



代表取締役の中江一泰さん（撮影：豆塚猛）

経営概要

◆代表者、所在地

代表取締役 中江一泰、京都府京丹後市網野町下岡148

◆設立年

令和5年7月20日

◆経営規模

花壇苗0.15ha、野菜苗0.45ha

◆従業員数

正社員1名、パート・アルバイト14名

◆事業内容

花壇苗や野菜苗の生産・卸に取り組み。

1 現状及び相談内容

パイプハウス18棟(35a)で野菜苗・花苗を生産。ホームセンターなどへ新たに販路を拡大し、売上を飛躍的に伸ばした。そこで、**法人の設立**によって、**対外的な信用力を高め、さらなる販路拡大を行うこと**、また、この生産を担う**中核的な人材を確保するため、社会保険・労働保険の充実や就業規則の作成を行うこと**について、普及指導センターを通じ、京都農人材育成センター（京都府農業経営・就農支援センター）に相談した。

2 支援内容

京都農人材育成センターの経営サポート専属スタッフの**中小企業診断士**が、**法人化の当否に係る経営診断**や法人形態の選択について助言。さらに、普及指導センターの伴走のもと、**税理士派遣による法人化した場合の会計処理への指導**や**収支のシミュレーション**などを行った。また、**社会保険労務士の派遣**により、**就業規則の策定**を支援。

3 人材の確保・育成に資する取組

★研修・作業用マニュアルの提供により作業内容を明確化し、出勤退勤時間自由制を導入するなど個々の生活リズムに合わせた働きやすい環境を整備

■出勤退勤時間自由制の導入

出勤退勤時間自由制の導入により、子育て等で時間の都合の付きにくい**主婦層の雇用拡大**や繁忙期における**人手不足の解消**にもつながっている。

■大学進学予定者を短期アルバイトとして雇用

3月に高校を卒業した学生を、進学するまでの1か月間アルバイトとして雇用。これらの人材を短期間雇用することで農業の実態を把握してもらい、**農業分野への就職のきっかけへつなげる**。また、学生が進学した後も長期休暇等で京丹後市へ帰省した際にも、**短期アルバイトとして雇用するため人材確保**にもつながっている。

■就業規則や研修・作業用マニュアルを作成

労働環境を向上するため、就業規則を作成するとともに、**年間の研修・作業内容を明確化**し、また従業員の技術習得状況の把握・フォローアップを行うための**研修・作業用マニュアル**を作成している。



家族外から初めて正規雇用した西村さんにポットの土入れを指導している様子

今後の意気込み

就農後、売上を伸ばすことができましたが、さらに上のステージに行くためには、法人化と家族外の雇用が不可欠でした。

現場を任せられる人材が育てば、営業に力を入れることができるため、売上1億円を目指したいです。

専属スタッフ所感

対外信用力の向上や従業員育成、課税メリットの観点から法人化するのに申し分ない経営体でした。

初回相談から1年以内に法人化や正社員採用に伴う各種の手続きをやり切った実行力も立派です。